

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-035359

(43)Date of publication of application : 10.02.1998

(51)Int.Cl. B60Q 1/24
 B60J 5/04
 B60Q 1/32
 B60R 1/12

(21)Application number : 08-229242

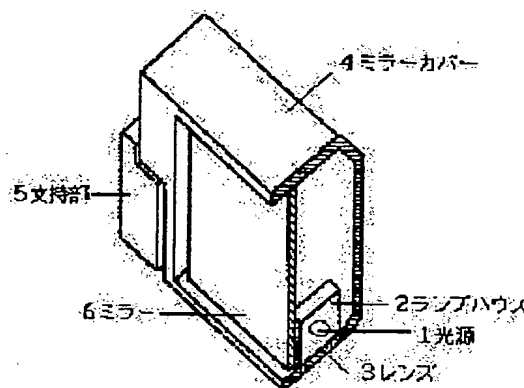
(71)Applicant : SATO RYUICHI

(22)Date of filing : 27.07.1996

(72)Inventor : SATOU HISAE
 SATO YOSHIE**(54) SIDE MIRROR OF AUTOMOBILE AND DOOR KNOB OF SIDE DOOR****(57)Abstract:**

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve visibility and of a car body side surface by illuminating a car body side periphery when a lighting system is lighted at night by equipping the lighting system on a side mirror and a door knob of a side door without influencing on a design.

SOLUTION: A side mirror 6 is covered by a mirror cover 4, and the mirror cover 4 is installed on a car body by a support part 5. Thereafter, one or a plural number of light sources 1 are set by avoiding a mirror angle adjustment device in the mirror cover 4 installed on the car body, a hole is provided on a cover bottom part, and a lens 3 is installed in the hole. Consequently, if the lens 3 of the same color as a large direction indicator is equipped on a front surface of the mirror cover 4 and it is interlocked with the direction indicator, it comes to be possible to replace a currently equipped front part direction indicator by it, to illuminate a car body side surface periphery when it is lighted at night and to improve visibility and passive visibility of a car body side surface.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

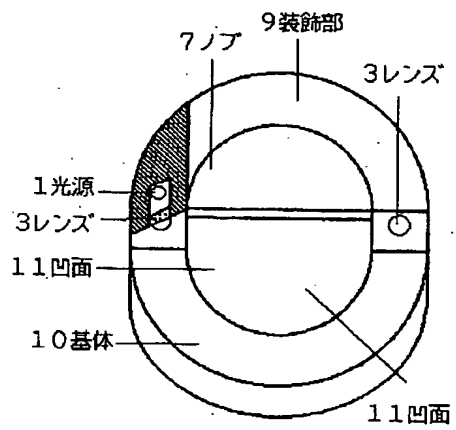
[Patent number]

[Date of registration]

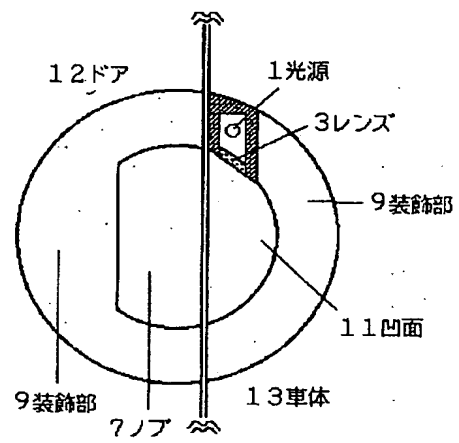
[Number of appeal against examiner's decision]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

【図5】



【図6】



き、夜間それを点灯すると車体側面周辺を照らし、車体側面の視認性及び被視認性を向上させることが可能である。実施例1から実施例7までは設置した高さから上では光源を見ることが出来ず、点灯時でも他車に光源のまぶしさを感じさせることもない。

【図面の簡単な説明】

【図1】 実施例1の斜視断面図

【図2】 実施例3の斜視断面図

【図3】 実施例4の斜視断面図

【図4】 実施例5の斜視断面図

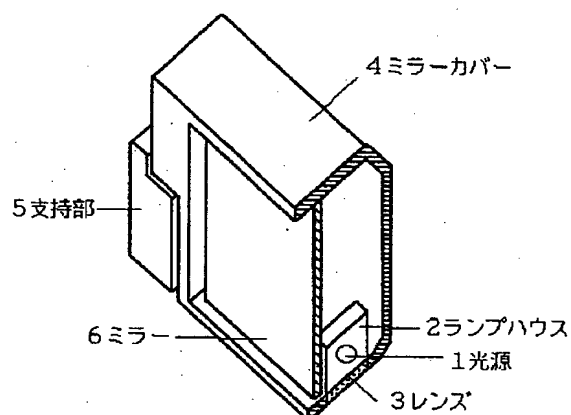
【図5】 実施例6の斜視断面図

【図6】 実施例7の一部断面図を含む正面図

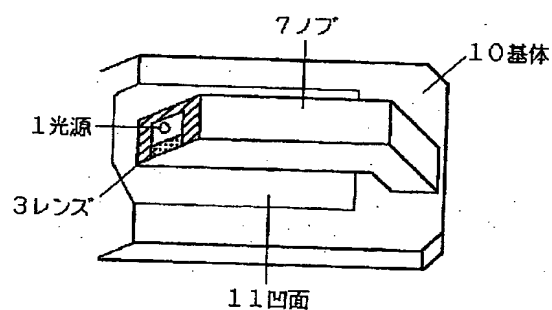
【符号の説明】

- (1) 光源
- (2) ランプハウス
- (3) レンズ
- (4) ミラーカバー
- (5) 支持部
- (6) ミラー
- (7) ノブ
- (8) 照明装置ユニット
- (9) 装飾部
- (10) 基体
- (11) 凹面
- (12) ドア
- (13) 車体

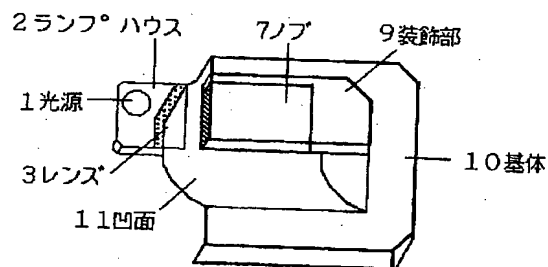
【図1】



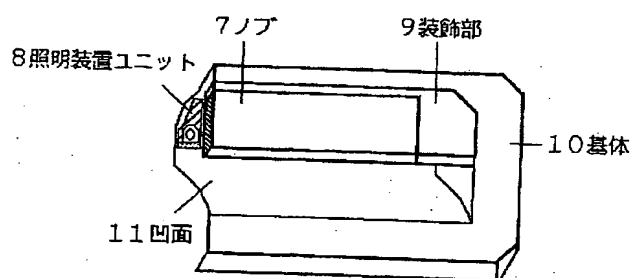
【図2】



【図3】



【図4】



【特許請求の範囲】

【請求項1】 照明装置を装備したことを特徴とするサイドミラー

【請求項2】 照明装置を装備したことを特徴とする車体とは別に形成されるサイドドアのドアノブの部品ユニット

【請求項3】 照明装置を装備したことを特徴とする車体の一部に部材を組み込んで形成したサイドドアのドアノブ

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、自動車側面の視認性及び被視認性を向上させるために照明装置を装備したサイドミラー及びサイドドアのドアノブに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、自動車側面の視認性及び被視認性を向上させる照明装置として用いられているものに、トラック等大型自動車の荷台下部にむき出しで取り付けられているものがあるが、デザインで販売成績が変動する乗用車等に取り付けるのにはデザインの的に不向きである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、その欠点をなくすために、デザインに影響を及ぼさず、自動車側面の視認性及び被視認性を向上させる照明装置を乗用車等に装備することを課題として研究を進めた。

【0004】

【課題を解決する手段】以上のような課題を解決するためのものとして、照明装置を

(イ) サイドミラーのミラーカバーの内に

(ロ) サイドミラーを車体に取り付けている支持部の内に

(ハ) サイドドアのドアノブ自体の内に

(ニ) サイドドアのドアノブ周辺部に
装備するものとする。

【0005】

【発明の実施の形態】自動車に必ず設置されている、サイドミラーやサイドドアのドアノブに照明装置を装備し、その存在の有無によりデザインが大きく変わることなく、照明装置を点灯すれば、車体側面を照明し、車体側面の視認性及び被視認性を向上させることができる。

【0006】

【実施例】**実施例1**

図1はミラーカバー内に照明装置を装備したサイドミラーの斜視断面図である。カバー内のミラー角度調整装置を避けて、光源を一つあるいは複数設置し、カバー底部に穴を設け、そこにレンズを付ける。光源はランプハウスを内に設置して照明効果を向上させる。

実施例2

サイドミラーを車体に取り付けている支持部の内に、実施例1のように光源、レンズ、ランプハウスを設置する。

実施例3

図2はノブ本体に照明装置を装備したドアノブの斜視断面図である。ノブ本体に穴を一つあるいは複数設けその中に光源を設置し、穴にはレンズを付ける。

実施例4

図3は基体の奥に照明装置を装備したドアノブの斜視断面図である。基体の凹面に穴をあけ、その奥に一つあるいは複数の光源を設置し、穴にはレンズを付ける。

実施例5

図4はノブと基体の隙間に照明装置を装備したドアノブの斜視断面図である。ノブと基体の間にレンズと光源をセットした照明装置ユニットを一つあるいは複数設置する。隙間に装備するために防水を考慮して密閉型の照明装置ユニットを使用する。

実施例6

図5はノブ周囲の装飾部の内に照明装置を装備したドアノブの斜視断面図である。装飾部に穴を一つあるいは複数設けその中に光源を設置し、穴にはレンズを付ける。

実施例7

図6はノブ周辺のドアと車体の一部の正面図である。ドアを閉めたときにドアの装飾と一体となるように車体に取り付けられた装飾部に実施例6のごとく照明装置を装備したものである。

実施例8

ドアノブ自体を透光体で構成しその内に光源を一つあるいは複数設置し、ドアノブ自身を照明装置のレンズとする。光源をドアノブの外に設置し光線のみドアノブ内に照射してもよい。実施例3から実施例8までは請求項2のドアノブの部品ユニットでも、請求項3のドアノブでも実施方法は同じで図の符号10の基体が請求項3では部材が組み込まれるドアあるいは車体となる。また方向指示器と連動させ光源を点滅させることも可能である。複数の光源も装備した時は方向指示器と同色の光源を設け、通常点灯時は点灯せず方向指示器と連動させる時のみ点滅させることも可能である。実施例8の時ドアノブを方向指示器と同色の透光体で構成すれば現在乗用車等の車体側面に装備されることのある方向指示器にかえることも可能である。実施例1でミラーカバー前面に大きな方向指示器と同色のレンズを装備し方向指示器と連動させれば現在装備されている前部の方向指示器にかえることも可能である。全ての実施例の場合でも照明装置ユニットを使用することも可能である。上記以外にサイドモールに照明装置を装備することも可能である。

【0007】

【発明の効果】本発明はサイドミラーやサイドドアのドアノブという自動車に必ず設置されている部品に、デザインに影響を及ぼすことなく照明装置を装備することがで

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-35359

(43) 公開日 平成10年(1998) 2月10日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 0 Q	1/24		B 6 0 Q	1/24 E
B 6 0 J	5/04			1/32
B 6 0 Q	1/32		B 6 0 R	1/12 A
B 6 0 R	1/12		B 6 0 J	5/04 H

審査請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平8-229242

(22) 出願日 平成 8 年(1996) 7 月27日

(71) 出願人 391038567

佐藤 隆一

愛知県名古屋市北区鳩岡町 1 丁目 5 番地
鳩岡マンション808号

(72) 発明者 佐藤 寿江

愛知県名古屋市北区鳩岡町 1 丁目 5 番地鳩
岡マンション808号

(72) 発明者 佐藤 美江

愛知県名古屋市北区鳩岡町 1 丁目 5 番地鳩
岡マンション808号

(54) 【発明の名称】 自動車のサイドミラー、サイドドアのドアノブ

(57) 【要約】

【課題】 デザインで販売成績が変動する乗用車等にも
も装備することが可能な側面照明装置を提供する。

【構成】 デザインに影響を及ぼさなためにサイドミラ
ー、サイドドアのドアノブに照明装置を装備し、車体側
面周辺を照明する。

